

市丸小だより

令和7年5月22日 第4号

「笑顔と感謝」

保護者・地域と市丸小「つなげるつながる」

市丸小学校 校長 守口 多恵子

運動会 無事終了!!

運動会当日はみんなの願いが叶い、過ごしやすい中で実施することができました。子ども達の「本気を出す」姿をご覧いただけて、本当によかったです。閉会式でもお伝えしましたように、皆様の「子ども達への温かいまなざしと声援」、また保護者・地域の皆様も参加しての綱引きなども大変ありがたく、本校が「地域と共にある学校」であることを実感しました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



【お子様や保護者の方に「困り感」はありませんか】

本市の市政だより以前に掲載されていた「発達障害による特性・特徴と上手に付き合うために」の記事から一部抜粋です。

【困っていませんか？】 発達障害には次のような特性・特徴がある人もいます。

人とよくトラブルを起こしてしまう。落ち着きがない。集団生活が苦手。文章の作成や計算が極端に苦手。

《発達障害とは？》 発達障害は、生まれつきみられる脳の働き方の違いにより、幼児のうちから行動面や情緒面に特徴がある状態です。子どもにも大人にもこれらの特徴をもつ人がいます。自閉症スペクトラム障害(アスペルガー症候群など)や注意欠如・多動性障害(ADHD)などが含まれます。早い時期からの周囲の理解と、能力を伸ばすための必要な支援や環境の調整が大切です。

他校のある保護者の方の話です。お子さんは友達とのトラブルが多く、親御さんは悩んでいらっしゃいました。卒業前に医療機関を受診し、発達障害がわかったのですが「もっと早く相談しておけばよかった。わがままと思って叱ってばかりだった。」という言葉が忘れられません。よりよい方法やトレーニングが身に付いていれば、もしかしたら避けられていたトラブルかもしれません。相談先は、学校を通した相談機関もあれば医療機関等、様々あります。スクールカウンセラーが来校する日もあります。お子様の貴重な6年間ですので、お子様や保護者の方で困り感がおありでしたら、一緒に考えましょう。いつでもご相談ください。

文部科学省は昨年、10年ぶりに通常学級において特別な教育的支援が必要な児童生徒の調査をした。公立小中学校の通常学級で、知的遅れはないものの学習面または行動面に著しい困難があり「発達障害」の可能性のある子が8.8%いた。調査方法が変わったため単純比較はしにくいですが、前回調査より2.3ポイント増えた。(朝日新聞令和5年4月10日より抜粋)

《★6月の行事予定★》

- 2日(月) 子どものためのクラシックコンサート
- 3日(火) 新道寺小との交流(5年)
- 4日(水) 避難訓練(風水害)・集団下校
- 5日(木) 耳鼻科検診
- 10日(火) 給食試食会・学習参観・学級懇談会(全校5校時下校)
- 11日(水) 社会科見学(3年)、年長者交流(4年)
- 13日(金) プール清掃
- 17日(火) お糸池水質調査(5・6年)
- 20日(金) プール開き
- 26日(木) 社会科見学(5年)

※予定は変更となる場合があります。ご了承ください。

